

令和7年度 学校経営計画

八王子市立元八王子小学校
校長 内田 克美

1 学校経営の基本理念

学校教育の使命は、学力と社会性を全ての子どもたちに身に付けさせ、将来、社会の一員としてよりよく生きていく「社会的自立」の上での基礎・基本を学ばせることである。そのため、東京都教育委員会及び八王子市教育委員会の教育目標・基本方針に基づき、義務教育期9年間の視点で社会に開かれた教育課程を編成・実施・改善することで、学校教育目標の具現化を図る。

〈教育目標〉

◎よく考え、自ら学ぶ子（思考力・判断力・表現力が豊かな子）

○思いやりがあり、力を合わせる子（豊かな感性と協調性をもった子）

○体を鍛え、ねばり強くやりとげる子（心身ともに健全でたくましく、自己実現をめざす子）

2 めざす学校像

3つの◎『◎たくなる・◎律ある・◎れいな学校』

子どもたちの「社会的自立」の育成を共通目標に、学校・家庭・地域が協働することにより

- ① 子どもたち一人ひとりの安全・安心が守られ、自己有用感を高め、他者理解を深めるとともに、自己実現を図ることができる学校
- ② 全教職員が学校運営参画意識をもち、自らの仕事に誇りと働き甲斐をもてる学校
- ③ 家庭・地域と協働し、安心して子どもを通わせることができ、誇りに思うことのできる学校

3 めざす児童像

「主体的に考え、判断し、行動できる子」（「社会的自立」の基礎）

○主体的に考え、判断し、行動できる。（主体性、自主・自律）

○「学び合い、高め合える学習集団」の形成（学び合い）

○学級・学校・地域等の課題について、仲間とともに、主体的に考え、判断し、行動、改善できる。（協力・協働）

○豊かな感性や道徳性を身に付け、豊かに仲間とかかわることができる。（感性・道徳性）

※重点：思いやり

○健康に必要な生活習慣を身に付け、体を鍛え、ねばり強くやりとげられる。（健康・体力）

4 めざす教師像

○義務教育期における「社会的自立」の育成を常に意識し、粘り強く指導・支援できる教師

○「授業で勝負できる教師」教科の本質的な面白さに気付かせ、主体的な深い学びに挑戦できる教師

○「人間理解に基づく組織的指導・支援」を徹底できる教師

○より良い学校づくりに向けて、Try&Errorを協働的に繰り返すことが教師

○子どもの成長のために、主体的に教職員、保護者、地域住民と連携・協働できる教師

○社会性と教育者としての高い倫理観を備えた教師

5 教職員に期待すること

○来たくなる、規律ある、きれいな学校

【来たくなる】

- 安心して通える学校づくり（人間理解に基づく組織的指導・支援の徹底）
 - ・『人間理解に基づく指導・支援』の徹底（元ハスタンダードの徹底）
 - ・生活指導体制（SST）・4STEP 指導等、教職員がチームとして一丸となった取組・対応の深化
 - ・道徳教育・特別活動の推進による「自己有用感」の育成
 - ・いじめの防止に向けた組織的対応の強化
- 義務教育期間を切れ目なくつなぐ「確かな学力」の定着と向上
 - ・低中高ブロックによる一部教科担任制授業の推進（授業改善・授業力向上）
様々な教員のかかわりによる「一人ひとりに応じたきめ細やかな指導」
多くの視点から子どもを見ることで、一人ひとりの良さや能力を伸ばす
 - ・「学び合い、高め合う学習集団」づくり
 - ・小中9年間を見通した「確かな学力」の育成（小中一貫教育の推進）
全員が「できる」、「分かる」、「面白い」授業づくり
 - ・「実生活、実社会に生きる学び」への挑戦（主体的・対話的で深い学びの実現）
 - ・GIGA スクール構想を最大限に活かした個別最適な学習の推進
 - ・保護者・地域協働型キャリア教育の推進
社会人・職業人として知識や経験が豊富な地域人材の活用

【規律ある】

- 「人間理解に基づく指導・支援」の組織的推進
 - ・「元ハスタンダード」、「生活指導スタンダード」、各種マニュアル（不応時、不登校）の徹底
- あいさつ、言葉づかい等を含め、相手意識（思いやり）の意識を日常的に育成する。
- 生活指導体制（SST）等、学校全体でチームとして連携・協力し、生活指導にあたる。

【きれいな】

- 教室内外が整理整頓されている、ゴミやほこりが落ちていない。
- 黒板の周辺の整理を常時維持することで、板書に集中できる環境を保っている。（授業のUD化）
- 室温、換気、採光等を適切に保っている。
- 場面に応じた美しい言葉や態度を教師自らが行うことで子どもの手本となっている。

6 学校経営の3つの柱

① 「生きる力」の育成（学びの質の向上）

- ・子どもたちの「社会的自立」を目標に、生きる力を育むことを目指し、基礎学力の定着・向上、健全な心身の育成、基本的な生活習慣や社会性を育成する。

② 学校の教育力向上

- ・信頼される学校となるよう、教師の資質・能力の向上を図るとともに、積極的に教育活動を公開し、学校評価アンケート等を通して適正な評価を受け改善に資するようとする。

③ 家庭・地域との連携・協働

- ・子どもたちの「社会的自立」を共通の目標として、学校・家庭・地域が連携することにより子どもたちの成長を包括的に支援する協働体制を構築する。
- ・地域の「学び舎」として、子ども、保護者、教職員、地域の方々がともに成長でき、学校、家庭、地域の教育力の向上及び、地域社会の活性化・健全化に資する学校経営を目指す。